

『楽しい&エコ』なくらし、いっしょにはじめましょ♪



季刊

えこびと

第15号
2015年4月

交代の役員会や春の雷（光彦） 3月のP&P特選より

特集1 eco-T 市民会議開催レポート！

主な活動（2015年1月～3月）

エコメンみ～つけた（大橋園芸 大橋 鋭誌 さん）

まちねた（蔵 cafe オープン、コメルリニューアルオープン）

活動レポート

会員突撃インタビュー（青山 克巳 さん）

お知らせ

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています

eco-T 市民会議開催レポート（2015/2/9 開催）

eco-T は、市民、エコ人、豊田市が役割分担をしつつ一緒にエコライフを推進する事業を実施しています。この事業をよりよいものにしていくと、計画・決定（P）→実施（D）→評価（C）→次の展開（A）も共に行っています。毎年2月に1年間の事業をふりかえり、次の展開を考える会議を開催しています。それが市民会議です。

今年のプログラムは大きく3部構成。事務局から1年間の事業報告のあと、セッション1：グループで意見交換、感想の共有を行いました。休憩をはさんで、セッション2：話したいテーマを持ち寄ってグループになり気になることを話し合いました。

eco-T の事業は「継続は力」の部分と代わり映えない「マンネリ化」している部分があるように思えます。そこで、今回の市民会議では、最初に根底にあるものを共有しました。

eco-T の根底にあるもの

●施設への思い

- ・事実を伝える施設にしたい
- ・ライフスタイルを転換させる施設にしたい
- ・リピーターが来る施設にしたい

●42万人のエコライフとよたをめざそう！

- ・運営方針：私たちがつくる私たちの学習施設
- ・学習姿勢：気づきから行動へ
- ・活動目線：市民が市民に伝える

●こんな施設です

- ・わくわく楽しい学習ができる施設です
- ・やりたい活動ができる施設です
- ・やる気が活動につながる情報のある施設です

●ミッション達成に向けて

- ・伝える人を増やす
- ・伝える機会を増やす
- ・学び合いの輪ができる

こんなことを様々な場面で設定してきたことをお話ししました。



セッション1, 2の意見

▼セッション1 H26年度事業への意見・感想

- ・eco-T の活動は楽しく生活や趣味がベースで時間を空けて活動しているので続けていきたい
- ・大人が楽しめるワーキング活動があれば知り合いを誘いやすくなる
- ・ESD をわかりやすく伝えたい
- ・年度初めに自分なりのテーマをもって活動していきたい
- ・情報伝達（共有）のやり方の工夫が必要
- ・評価するということが難しい。P→DはやれているがC→Dはやれていない
- ・イベントになかなか参加できなく活動のモチベーションが下がった

▼セッション2 テーマ毎の話し合い

- ①楽しい活動：まず自分が楽しくないと楽しさは伝わらない。モチベーションアップ
- ②来館者を増やす：3万人を目指そう！。入口をわかりやすくしたい。PRに力を入れよう
- ③展示室を楽しくしたい：受付シフトができるプログラムを準備、来館者に声かけ。こまめに展示更新を
- ④ESDについて：楽しい発想でESDを広めよう
- ⑤出前講座の充実：出前講座を考えるグループの設置、やってみたい人への研修

この記事を書いているのは新年度の事業計画説明会後。市民会議の意見を踏まえつつ重点的に取り組むことを説明しました。（坂本竜児）

とよたエコ人プロジェクトの主な活動 (2015年1月～3月)

●1/16 展示解説ボランティア育成講座スタート



●1/31 浄水北小地域支援室へ出張クッキング



●1/17 エコトーク～地域ぐるみで子育て



●2/9 eco-T 市民会議



●1/28 キッズスペースでトヨタの森訪問



●2/15 とよたエコクラブ交流発表会



●1/31 豊田市環境基本計画勉強会開催



●eco-T を訪問

北村環境副大臣(1/14) 太田豊田市長(3/12)



エコメンみ〜つけた ★三

Q 大きなビニールハウスが何棟もありますね。どんな農業ですか？

野菜苗を育てています。春はトマト、ナス、ピーマン、スイカなど。秋はキャベツ、ブロッコリー、レタスなどを豊田市全域に出荷しています。それと水田で米、麦、大豆を生産しています。農家を継ぐに当たって滋賀県のタキイ園芸専門学校で2年間基礎を学びました。

Q 今、注目の「夢農人とよた」の立ち上げメンバーとお聞きしました。

農業をもっと魅力ある産業にしたいと2010年に立ち上げました。現在31軒の若手農家が活動しています。軽トラ市から始まり、地域イベントやバザーなどの対面販売を経て、今年3月13日には豊田市桜町にカフェとマルシェをオープンしました。(P5参照)

農家が集まってPRすることで私たちの存在を知ってもらえるようになり、地元の農産物を買いたいと思っていただけただけが嬉しいです。また、夢を語れる仲間ができることで人の輪が広がるのを実感しています。



Q アイデア豊富で仲間作りを大切にしておられますね。

豊田産小麦とトヨタファームの三州豚を使い「このまちうどん」を開発して、第2回おいでんグランプリで優勝。昨年は蒲郡で開催された全国ご当



地うどんサミットにも出場させてもらいました。また、地元農産物を全面的に使ったレストラン、レクラ・ド・リール(東山町)のオーナーとしてお店と農家をつなぐ役目もしています。お客様に喜んで食べていただくことこそが私たち農家にとって最大の喜びです。

また他には、子どもたちに向けて寿恵野小学校で米作りの体験の場を提供する食育活動もしています。子どものうちに土とふれあう経験をさせてあげたいなと思っています。

Q 暮らしの中のエコは？

もみがら堆肥を作っています。もみがらと米ぬか、菜種かすなどを混ぜて発酵させたものを土に還す。自然のものを循環させることで安心して食べられるおいしい野菜が採れるように努力しています。「自分自身が食べられるものを作る」農家で居続けたいと思っています。

Q ご家族のこと、趣味のお話を

妻と男の子2人の4人家族です。子どもたちはビニールハウスでよく遊んで育ちました。趣味は音楽。昔バンドをやっていた縁もあり、今でも市民音楽祭の実行委員をしています。



どこかお気に入りの場所で、お写真をとお願いしたら、大切な育苗室の中での撮影となりました。

(エコメン取材チーム 長嶋一枝、赤坂洋子)

とよたのまちねた

エコメンみ〜つけたの大橋さんが副代表をされている「夢農人とよた」さんがプロデュースした複合施設がオープン

築 100 年の蔵と古民家をリノベーションしたコミュニティスペース「ママトコ」が桜町の桜城址公園の向かいに3月オープンしました。「ママトコ」という名前の由来は、その空間をママと子どもが楽しめる場所に、そして、「地元豊田市の農産物を味わってもらおう。知ってもらおう。」という想いから。これをプロデュースしたのが「夢農人とよた」です。若い地元生産者がつくる空間をみんなで応援していきたいですね。エコットフォーラム2014の講師を務めていただいた鋤柄(すきがら)さんの三州豚を使ったランチも美味しかったです。寄ってみる価値大の場所です。(赤坂洋子)



ママトコは、3つの空間で構成

◆ 蔵カフェ「ころも農園」

夢農人さんの豚肉やお米、野菜などを使ったランチやスイーツなど地産地食が楽しめます。

◆ ショップスペース (マルシェ)

地元農産物や加工品の販売、その他レンタルボックスという小さな木箱で手作り品を販売しています

◆ レンタルスペース

子育てや生活に役立つ講座や教室が開かれています。

● ● ● ● ●
蔵カフェ・ショップ&コミュニティスペース
MAMATOCO (ママトコ)
豊田市桜町2丁目56
<http://kura-mamatoco.com/>



エコットフォーラム講師の長田さんのお店「comer (コメル)」がリニューアルオープン

3月13日(金)に星ヶ丘テラスに新しく「THE KITCHEN」がオープンしました。広小路通に面した明るい店内には食へのこだわりを持つ9店舗。その中に、昨年エコットフォーラムで講演していただいた長田絢さんが監修されている「comer」もあります!

大人気のスムージーやお弁当などを取り扱っています。トヨタファームさんと共同で育てられた「長田豚」のお弁当もここで食べられますよ!

私のおススメは「恵那川上屋」。季節限定の栗きんとんがあるそうです!

星ヶ丘テラスは東山動物園の近くなので、これからの季節ぜひお出かけになってみてください!(福間陽子)



活動レポート

●レポート1

豊田市環境基本計画学習会開催（1/31）

市民活動の視点に豊田市の施策の視点も加えようと、3回目となる学習会を開催しました。

今回は、四日市大学松井真理子教授をお招きして講演「政策づくりと市民共働」、豊田市の担当者をお招きして計画の進捗報告、グループでの学び合い・分かち合いを行いました。

松井先生には、市民活動の価値や行政と市民の立場の違い、新しい公共や共働の目的や意味について約1時間お話しいただきました。印象に残ったのは、「今の当たり前は、誰かの『ほっとけない』気持ちがあったから」ということ。私も eco-T のインタープリターも自分のためにも社会のためにも「自分が行動しなきゃ！」という思いが根底にあるからなんだと再認識しました。その後、市の担当者から第7次豊田市総合計画と環境基本計画の概要を説明。

グループで松井先生や市に聞きたいこと、環境基本計画を加速させるためのキーワードを話し合い、共有と質疑応答をしました。

▼環境基本計画を加速させるためのキーワード

環境政策を市民が確実に行動できる仕組みづくり、アメとムチを使い分ける行政、自分が決める物に関心を持つ、楽しく選択する、目に見える取組み、損得勘定、CO₂削減、市民の実績や実感の見える化、外来生物、レポーター制度、市民のボランティア力を高める、市民の参画を増やす場作り、短く簡潔に伝える工夫として漫画、達成するために eco-T を有効活用

出席者は、環境基本計画の存在は知っていても読んだことのある人はほとんどいません。例えば、1人1日当たりのごみの排出量を 38g 削減するという計画があります。これを実現するには、ライフスタイルの変化とレジ袋の無料配布中止のような物の売り方・買い方が変化しなければ実現できないでしょう。eco-T の事業でも計画を意識して取り組むことが必要だと思いました。

（坂本竜児）

●レポート2

とよたの環境学習お助け本 環境学習ガイドブック完成！

2014年11月にESD国際会議がありました。みなさん、覚えていますか？エコ人プロジェクトも ESD を推進したいと、2013年ごろから何かしなければと。その集大成が「お助け本」です。



eco-T では、小学校向けに様々な出前授業を行っています。昨年度の実績で、4年生向けのくらしの環境学習推進校は16校、小学校低学年・高学年をあわせると、32校112回、3,293人に向けて出前授業を行いました。これまで実施したプログラムをまとめ、先生向けのテキストにすることで、eco-T の認知度を高め市内の環境学習を促進させようと、愛・地球博の余剰金を活用した助成金「モリコロ基金」に応募、採択されました。

4月に助成金の内定をいただき、制作がスタート。どんな構成にするか、先生に伝わる紙面はどういったものか、議論を重ね、色使いやレイアウト、読んでもらう導入の工夫を話し合いました。また制作途中に、「ESDという言葉を使わない方が先生には受入れやすい」「いや、新しい概念を知るために、新しい言葉を使った方がいい」という葛藤がありましたが、最終的には ESD という言葉や ESD カレンダーの作り方を入れました。

まだ配布していませんので、反応はわかりませんが、この冊子がもとで問合せが殺到して…というのも恐ろしい。とらぬたぬきにならないように、しっかりと先生に渡して活用してもらえるようにします。

（坂本竜児）

地域貢献！今は、これが生きがい。

今回のゲストは青山克巳さん。「青さん」の愛称で親しまれ、eco-Tでも、会議、イベントで大忙し。地域活動も同様に、充実した毎日を送っています。



Q はじめに、趣味はなんですか？

カラオケ、木工、家庭菜園と多趣味です。新しいことをしたいけど、中途半端は嫌いなので、どの趣味も長く続いています。カラオケの場合、カラオケ同好会に入って20年になります。毎週、課題曲を決めて、若林交流館で歌っています。同好会には先生もいて、本格的です。木工は個人的な楽しみで、お金をかけずに、発想してモノづくりをすることが楽しいです。木工の趣味は、交流館でグループを立ち上げて、高岡運動公園のベンチ作りをしたり、学校や子ども園に寄贈したりと地域の人にも喜んでもらっています。2005年の愛・地球博では巨大モリゾーを作って、マナカナちゃんが取材に来てくれたこともありました。

Q 最近、心に響いたり感動したことを教えてください。

「おかげさまで生きる」という矢作直樹さんの本に感動しました。エコットフォーラム 2013 で講演いただいた白駒妃登美さんのお話ともリン

クするのですが、考え方が古風で、「生と死」がテーマです。今になって、子どもの頃、勉強や読書は全くしなかったことに後悔しています。eco-Tに来る子どもたちには、後悔しないよう伝えられたらと思って、話をしています。

Q ほっと一息つける場所は？

特にここ、というところはないです。13年ほど前に、胃がんになり、手術しました。医者から「たばこを止めなさい。」と言われ、止めました。木工も家庭菜園も「作る」ことが楽しく、性に合っている。また楽しみという意味では、eco-Tや地域活動で子どもと話をしているときにも見つけられる。ぜひ、子どもと触れ合ってみつけた楽しみの共有をインプリ同士、たくさんできるといいなと思っています。

Q eco-T やエコ人に対して一言お願いします。

A.「楽しく」は外してほしくない。また自身の活動でも、そこを見つけていきたいとも思っている。13年前の病気で、「死」を目の前にして後悔した。この時感じたやり残しを消化するために、この13年は生きてきたと思っています。「やるべきことをすべてやってきたと思える人生」にするために、日々生活したいと思っています。eco-Tの活動も概ね楽しめています。しかし、インプリ同士の交流が減っていますし、事務局からもインプリが楽しめる工夫が欠けていると感じるときがあります。インプリから声を出せて行けたらなと感じます。

今後はeco-Tでは、第一線の活躍者ではなく若い期の方にバトンタッチをしていきたいと話す青山さん。ぜひ、地域に広がる活動を通して、インプリを含めた地域活動者の見本になってほしいと思います。

(会員突撃チーム：岩月桂子・水野雄介)

エコ人からのお知らせ 新規会員募集中！

〔会員特典〕

- ・ほぼ季刊で「えこびと」をお届けします。
- ・会員メーリングリストに登録できます。講座やイベント、世の中のエコ情報が届きます（不規則）。
- ・講座やイベントに会員特典（参加費の割引など）を受けられることがあります。
- ・e-cafe チケット3枚プレゼント！
コーヒーを飲みながらエコ井戸端会議、eco-Tで毎週木曜日に開催しています。
- ・少人数の会議や作業などで事務所を利用できます。
- ・スタッフや理事に気軽に質問や相談ができます♪(笑)

*入会方法については、お気軽にスタッフや理事にお問合せください。

新スタッフ紹介！

この春、eco-Tのスタッフが増えました。

●堀田里美さん

3月よりお世話になっています。

eco-Tに入って、エコや環境をより意識するようになり、子どもたちから『最近エコが流行ってるね』と言われる今日この頃です。

毎日学び、前へ進んでいきたいと思えます。まだまだ未熟ものですが頑張ります。

よろしく願いいたします。

エコットフェスタ 2015 のお知らせ

- ・日時 5月31日(日) 9:30~15:00
- ・テーマ 楽しく学んでとっておきなエコを見つけよう
- ・内容 エコ屋台村、スタンプラリー、マルシェ、フリーマーケット、リユース広場(子ども服、陶器、本の交換)MIRAIと記念撮影、ハンドベルコンサート、石畳足湯など

〔会費〕

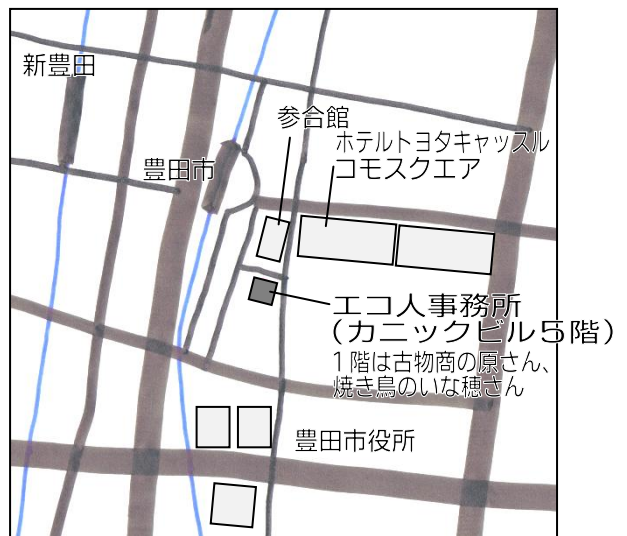
正会員	10,000円(議決権あり)	
賛助会員	一般	1,000円/□
	学生	500円/□
	非営利団体	3,000円/□
	営利団体	10,000円/□

*エコ人の年度は6月~5月です。

〔現在の会員数〕

正会員 22人、賛助会員 49人・3団体

〔エコ人プロジェクト事務所 MAP〕



編集後記

梅が咲いたと思ったらあっという間に桜が散りましたね。2014年度は、リユース工房の受付業務がスタートし、太陽光発電組み立て講座や再生可能エネルギー講座など、新しいチャレンジができた年でした。

2015年度はどんな年になるでしょうか。豊田市は海がない以外は日本の縮図。持続可能な社会に向けて新たなチャレンジを！

*DRIVEというHPで求人しています。

発行・編集 ^{びと} NPO 法人 とよたエコ人プロジェクト

〒471-0025 愛知県豊田市西町1-88 カニックビル5階

TEL: 0565-50-5684 FAX: 0565-50-5568

メール: info@t-ecobito.jp

ホームページ: <http://t-ecobito.jimdo.com/>

最新情報はホームページへ

エコ人

検索